

事務事業名		日本一さくらのまちづくり事業			所属部	産業観光部		所属課	観光振興課			
総合計画 体系	政策名		〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉			所属G	観光振興グループ		課長名	高橋 司		
	施策名		〈36〉観光の振興			担当者名	川西 史明		電話番号	0854-40-1054		
	目的	対象	A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。			(内線)	2433			
	基本事業		〈105〉観光資源の充実			予算 科目	会計	款	大事業	大事業	観光振興総務管理事業	
	目的	対象	観光客	意図	魅力ある観光商品を購入・消費する。			項	目	中事業	中事業	日本一さくらのまちづくり 事業
						0	1	3	5	0	1	
						0	5	1	5	0	3	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)		② 意図(対象がどのような状態になるのか)	
雲南市の景観 観光客		雲南市の花である「桜」の保護育成活動により美しい景観を守り、創造する。	
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)			
事業期間 □ 単年度のみ ■ 単年度繰返 (H16 年度～) □ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		日本さくら名所100選「斐伊川堤防桜並木」を有し、市の花が桜である雲南市において、市内各地の桜は、かけがえのない共有の財産であるとともに、重要な観光資源である。市民が桜を愛し、桜の植栽・保育を通じて活力あるまちづくりを目指すべく、桜守(桜の管理専門職)の配置等を行う。	
④ 主な活動		⑤ これまでの改革・改善経緯	
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)		(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	
①桜守公用軽トラック保守管理 ②さくらまつりPR(ポスター及びチラシ作成等) ③桜に関する問合せ、視察受入対応 ④桜保育管理(外部委託) ⑤雲南市さくらのまち観光振興協議会との連携		令和2年度から雲南市さくらの会で担っていた桜の管理業務を市役所観光振興課が引き継ぎ、委託先と市が直接契約を結ぶこととなった。桜の保全管理継続のため、桜守を公募しR5.9月から2名体制とした。	

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 桜本数	本	109,190	109,180	109,180	109,180
イ 観光入込客数	千人	934	1,000	1,073	1,160
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
需用費 633千円 役務費 61千円 委託料 12,212千円 使用料 138千円 備品購入費 1,131千円 公課費 7千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	12,269	11,355	14,182	15,813	
		一般財源	千円					
	事業費計		千円	12,269	11,355	14,182	15,813	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績 における成果	桜保全管理業務を外部委託し、剪定作業、薬剤散布作業、肥料製造・施肥作業等の作業を行った。 2024雲南市桜まつりでは、市内外の多くの方に観賞してもらえる機会となり、期間中の入込客数については約8万7千人となった。
② 事業実施 するうえでの 課題	雲南市全域へ桜のまちづくりを浸透させていく必要がある。現在の財源にも限りがあるため、新たな財源を確保する必要がある。将来的に継続して桜の保育管理を行ううえで、桜守の人材確保・育成が必要である。
③ 課題解決 に向けた改革 改善等	桜守の業務条件等の見直しを検討する。新たな財源としてGCFなどの取り組みを進めている。